



平成24年8月10日

各位

会社名 株式会社アゴーラ・ホスピタリティー・グループ
代表者名 代表取締役社長 ホーン・チョン・タ
(コード：9704、東証第1部)
問合せ先 取締役CFO 佐藤 暢樹
(TEL. 03-3436-1860)

営業外収益の減少及び特別利益の計上並びに

平成24年12月期第2四半期累計期間(連結・個別)の業績予想の修正に関するお知らせ

平成24年12月期第2四半期連結累計期間(平成24年1月1日～平成24年6月30日)における、営業外収益の減少及び特別利益の計上につきまして下記のとおりお知らせいたします。

また、平成24年2月13日に公表した平成24年12月期第2四半期連結累計期間(平成24年1月1日～平成24年6月30日)の連結及び個別の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外収益(為替差益)の減少

平成24年12月期第1四半期連結累計期間において円安の影響等により74百万円の為替差益を計上しましたが、その後の為替相場の変動等により、為替差益は4百万円に減少いたしました。

これは、平成24年12月期第2四半期期末(平成24年6月末日)時点において、当社保有の外貨建資産を同日の為替相場で評価したことによる為替差損によるものであり、今後の為替相場の動向に伴ってこの額は変動いたします。

2. 特別利益(新株予約権戻入益)の計上

当社が既発新株予約権の一部を無償取得し、消却したことに伴う新株予約権戻入益45百万円を計上いたします。

3. 業績予想の修正について

(1) 連結業績予想数値の修正

平成24年12月期第2四半期(累計)連結業績予想値の修正

(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
前回発表予想(A)	1,550	1	△46	△66	△0円27銭
今回修正予想(B)	1,507	△67	△103	△81	△0円30銭
増減額(B-A)	△43	△68	△57	△15	
増減率(%)	△2.8	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年12月期第2四半期)	507	△73	△65	△75	△0円34銭

(参考) 個別業績予想数値の修正

平成 24 年 12 月期第 2 四半期 (累計) 個別業績予想値の修正

(平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期 純利益
前回発表予想 (A)	225	△71	△72	△ 0 円 27 銭
今回修正予想 (B)	231	△67	△18	△ 0 円 07 銭
増 減 額 (B - A)	6	4	54	
増 減 率 (%)	2.7	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 12 月期第 2 四半期)	179	△86	△76	△ 0 円 35 銭

(2) 修正の理由

平成 24 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、売上高は概ね公表予想値 (平成 24 年 2 月 13 日) とおりとなる見通しとなりましたが、営業利益、経常利益、四半期純利益につきましては同予想を下回る見通しとなりました。

営業利益につきましては、一部宿泊事業所における改装工事が当初計画より範囲が増加したこと及び、一部営業施設の休止の影響等により、前回予想を 68 百万円下回り 67 百万円の営業損失となる見込みです。経常利益につきましては、前述の営業損失の増加等により、前回予想を 57 百万円下回り 103 百万の経常損失となる見込みです。四半期純利益につきましては、特別利益に新株予約権戻入益 45 百万円の計上が見込まれるものの、前述の経常損失の増加等により、前回予想を 15 百万円下回り 81 百万の四半期純損失となる見込みです。

また、平成 24 年 12 月期通期連結業績予想につきましては、第 2 四半期連結累計期間の業績動向及び、住宅不動産開発事業における借入金のリファイナンス手数料約 44 百万円の営業外費用への計上を見込んでおりますが、平成 24 年 7 月 24 日にお知らせいたしました、リーガロイヤルホテル堺の事業を譲受けることによる連結業績に与える影響について現在精査中であり、見通しが明らかになり次第、速やかに公表いたします。

以上